

黒本4



成年向



フッフ
真の貴族たるワシに
不遜な態度をとるから

このようなことに
なるのじゃ
クロスベルの小娘

確かユウナ
とか言ったか

なんで体が全然
言うことを効かないの

バレット!
私に何したのよ



不思議か?

このアーティファクト
黒玉には何人足りとも
逆らえんのじゃ



小娘を調教する
には十分じゃ

まああ、一度に1人しかも
1日限りという制限時間付き
じゃが

誰が調教
なんてされるか!



フン、口の聞き方を
知らん小娘だ

作法というモノを
叩き込んでやろう

そんなもん
お断りよ
変態貴族

なッ
クロスベルなぞという
属国の出の分際で
何をほざくか

なにが属国よ
私達のクロスベルは
帝国なんか屈しないわ

生意気を言う
小娘だ

フン!
自分の立場という
モノを分から
せてやろう

貴様なんぞブーブー
鳴く豚も同然じゃ



フフフフ
 なんじゃその情けない
 悲鳴はそれが
 クロスベルの豚の鳴き声か

ハヒイイイイ



この糞貴族が

いつまで
 その生意気が
 言えるか
 楽しみじゃわい

さて、チンポを入れる前に
 クロスベルの田舎臭い
 マンコをキレイに
 してやろう

やめて！
 汚い！







フッフ
クリトリスなんぞ
弄られた
即イキじゃろう

豚の鳴き声は
うるさくて
たまらんわ
高貴な鼓膜が
敗れてしまうわ

おひいいいッ

ひぎいいい

そこらめええ



属国の雌豚はそうやって
振るえておればいい

さああ
お楽しみ時間じゃぞ

貴族のチンポを
くれてやる

嫌それだけは
イヤアアアッ

ひいいい

フン！
ありがたく
思え雌豚が

ヒイウウウウウツ

どうじゃ嬉しいじゃろう

お前みたいな雌豚平民じゃあ
一生はめてなんぞ貰えん

オオオオオオオオ

超高貴な
真の貴族チンポじゃぞ

痛い！痛いよおお

らめええもう抜いて

抜くじゃとまだ
始まったばかりじゃ
ろうが



嫌よそんなの絶対に
お断りなんだから

そろそろ
これからは生涯
ワシのチンポを
はめてやるんじや
少しは喜べい



それって

さああたっぷりと
高貴な子種を
注いでやろう



フフフ
イヤイヤ言いつつマンユは
キョんキョんワシのチンポを
締め付けておるぞ

そりやあああ
クロスベルの雌豚にはもったい
なさ過ぎる超高貴な
特濃貴族ザーメンじゃ

イヤアアアツ

しっかりとその下劣な
平民マンコで受けとれい

何が嫌じゃ
しっかりと感じとる癖に

おおお



逆らえんように
この裏ルートから
買い付けた超媚薬麻薬
紅液でな



やめて
そんなのダメ



貴様には
ワシの雌豚奴隷に
なってもらおうぞ

黒玉の力が消えても
逆らえんように肉体改造も
してやろう

そ・そんなの嫌らああ



従順な雌豚奴隷に
なったらワシの
ためにしっかり
働くんじやぞ



ハヒイイイ

何か流れ込んでくる
嫌これこんなのダメエエエ



な：なんでさっきまで
痛いだけだったのに

どうじゃ
紅液の効果は

もう後戻り出来んぞ
ワシの雌豚奴隷に
なり下がるしかないんじゃ

いや成り上がるかの



だめもう
これ以上チンポ
入らない

まずはワシの超デカチンポ
を子宮の奥まで
プチ込んでくれるわ



なあくに
良い子にしてれば
かわいがって
やるからのう



ひゅうひゅうひゅう

おははは

ビビ

ドボボボボボ

ハハハハ豚とはいえ
なかなか良い
マンコをとるわ

クロスベルの雌豚は
皆こうなのかの



グシヨグシヨに
トロけた淫乱
クロスベルマンコ
なかなか
具合がよいぞ

クロスベルを
ワシの雌豚生産の
養豚場にするの
もいいの

ヒヤアアア
やめれええええ

もうこれ以上
突かないれええ

頭おかしくなりゆう

ドボボボボボ



そらそら
さっきまでの
生意気な態度はどうした

許して欲しかったら
ちゃんとした言葉遣い
というものがあるだろうが

はひいいい

ビッ

このまま犯され
続けたら
頭おかしくなる

なんにもわから
なくなっちゃう

ちゅ



お願いしましゅう

ごめんなさい私が悪かったです
もう犯さないれえええ

許してくらさい



フン貴様みたいなの
雌豚を誰が許すか

いやああああ

ワシのチンポが
マンコに馴染むまで
ハメまくって
ハメ倒してくれるわ

せいぜい
気が狂わんように
耐えてみるんじゃない



フフフ
所詮は
クロスベルの雌豚
じゃのう屈服する
のも早い面白くないの



ほれほれ
もっと反抗して
みい



もう逆らいません
から許して
バラッド様



クリトリスがあんなに
充血して赤く

これを虐められたら
本当に気が狂う



さて

せっかく紅液で大きく
なったクリチンポじゃ
それも虐めてやろうかのう

な…なにコレ
私の体
どうなっちゃたの



例えばこの針で
そのクリチンポ
一刺ししたら
どうなるかのう？

ひいいい

や…やめて



ダメだ
もしそんなこと
されたら

本当に気が
狂っちゃう
そんなのイヤだ



やめてじゃと？

豚なら豚の
言葉を喋ってみい

人の言葉を喋るなぞ
不遜じゃぞ



そらどうした雌豚なら
雌豚らしい
鳴き方があるじゃろう

誠心誠意謝れば
クリトリスを
ブツ刺すのだけは
許してやるぞ

フフフ、
やはり平民の雌豚には
プライドというものが
ないようじゃな

ブヒブヒと豚のように
あさましく泣き喚くとは

まあ刺すのは
勘弁してやる
かのー

びびり許してびびり

お願いでびびり



おうおう凄い泣き声じゃ
愉快、愉快

じゃが、豚なら
豚らしくブヒブヒ言わんか

おひッ
いぎやあああああ

なんて
貴族が豚の
言うこと
など効くか

ちやんと鳴けるまで
千本刺しにしてくれるわ

ブヒイイイ!

ブヒ!ブヒ!
ブラッド様許して
ブヒイイイ

クロスベルのバカユウナは
反省しましゅたユウナは
ブラッド様に逆らう
大バカの雌豚でしら



まったく
千本刺すつもりが
十本も刺せんかったわ

もっとそのクリチンポ
大きくしてやらねばな

お願いブヒれすから
もう許して下さい
ブラッド様

うるさいわ豚が
いちいちワシに指図
するでない

ごめんなしやいい
ブラッド様

そら
この導力振動
ゴムキャップ
をつけてやるわ

このまま
イキ狂うがよい
雌豚が

いや、やめ

ぐりぐりおまのまの



どうじゃ、このワシに
生涯の忠誠を
誓う気になったか

ブヒイイイ

公爵しやま
お願いブヒから
許しブヒイイイ
ブヒブヒブヒ
もうひやめ



ゆるひれええ

なりましゆた

なりましゆたから
もうユウナのこと
許してえええ

まだまだ
忠誠心が
足らんぞ！

クロスベルは養豚場です
バラッド様のために
雌豚家畜を生産するため
だけの臭い臭い養豚場

ならクロスベルを罵れ
ワシにだけ
敬意を示すのじゃ

最低で下劣で
品性のかけらもない

夢も希望なんてない
最悪の国でしゅう

帝国バンザイ！
バラッド様バンザイ



ブヒブヒ

もっろもっろ

クリちゃん
虐めれえええ

びび

もっとユウナの
クロスベル臭い
マンコに貴族デカチンポ
突っ込みまくって
下さいませえええ



フフフ
この小娘も良い感じで
壊れたの

コイツを使って
もっともっと雌豚奴隷を
増やしてくれるわ

ががが
ががが
ががが

ドドドドド
ドドドドド
ドドドドド
ドドドドド
ドドドドド

発行日 2018 08 12

発行 黒いモノ
印刷 大陽出版様
連絡先
akadamatenpo@yahoo.co.jp

[注意]

この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本書籍は成人向けのため、18歳未満の方への配布はお断りさせていただきます。

また本作中で描かれる行為は、正しい性行為ではなく、犯罪です。
絶対に真似しないで下さい。

黑毛